

# 全野研 ニュース

## 全国野菜園芸技術研究会

7月1日発行 第9号  
 発行所 全野研青年部  
 全野研 東京事務所  
 東京都千代田区神田司町2-21  
 TEL 03-3233-3634  
 FAX 03-3233-3666  
 http://www.zenyaken.com  
 E-mail yasai@zenyaken.com



昨年の「第60回愛媛大会」

# 消費者に選ばれる野菜づくり 需要に応える野菜づくり



大山 寛 会長

## 第61回 全国野菜園芸技術研究会 大会

7月26日(火)・27日(水)開催

東京・よみうり大手町ホール、東京ビッグサイト

全国野菜園芸技術研究会(全野研)大山寛会長は、7月26・27日の両日、東京・大手町のよみうり大手町ホールと、東京・江東区の東京ビッグサイトで、「全国野菜園芸技術研究会 東京大会」を開催する。

本大会は、会を重ねて

今年で61回を迎える。消費者・実需者の期待に応える安全・安心で品質のよい野菜の安定生産に取り組む、自らの野菜園芸経営を安定的・持続的なものとするため、全国の野菜生産者が一堂に会して研鑽・交流する。

今回は、「消費者に選ばれる野菜づくり、需要に応える野菜づくり」をテーマに、これからの良品多収技術、地域環境や条件を活かした特徴ある野菜づくり、開催地・東京の生産・流通・販売の事例を学び、参加者同士の情報交換を活発にして、技術向上や経営発展をめざす。

### 東京大会 機器・資材・種苗展示会出展社

- （株）ときわ研究場 / （株）リック / 日本曹達 / （株）TMR / （株）コバヤシ / 東セラクリエイト / （株）アジネットワーク / （株）朝日
  - （株）工業 / （株）埼玉農工機料販 / 売 / 日本モールド工業 / （株）アグリベース / 四万十 / （株）エンドウ産商 / 湘南グリーン / ネボン / （株）
  - （株）みかど / 協和 / （株）木紅木 / （株）加藤工業所 / （株）埼玉原種育成会 / シンジェン / タジャパン / （株）久留米種苗園 / 芸 / みかど化工 / （株）
- （24日現在）

「うまいっ」食材に学ぶ元気な野菜産地づくりについて講演。東京・足立区で農園を経営する牛込聖英氏が「東京の野菜生産と経営事例」を、東京野菜普及協会の堀将人氏が「大消費地・東京における野菜産地・販売・商品開発の取り組み」を、新技術研修を

「うまいっ」食材に学ぶ元気な野菜産地づくりについて講演。東京・足立区で農園を経営する牛込聖英氏が「東京の野菜生産と経営事例」を、東京野菜普及協会の堀将人氏が「大消費地・東京における野菜産地・販売・商品開発の取り組み」を紹介する。また、会場では園芸機器・資材・種苗の展示会も同時開催し、生産者とメーカーの情報交流の場も設けている。

2日目の27日は、東京ビッグサイトで行われている「施設園芸・植物工場展GPEC2016」

## 大会日程

### 7月26日(火)

- 【式典、講演会 会場：よみうり大手町ホール】
- 10:30～ 機器・資材・種苗展示会（～16:00）
  - 10:30～ 受付開始
  - 12:00～ 式典開会  
 主催者挨拶  
 来賓祝辞・来賓紹介  
 功労者表彰・感謝状贈呈
  - 12:40～ 展示見学・休憩
  - 13:10～ 特別講演 野菜生産新技術  
 作物の味が導く、世界をリードする高品質な野菜の多収技術  
 農研機構 野菜花き研究部門野菜生産システム研究領域 岩崎泰永氏
  - 13:55～ 休憩
  - 14:00～ 記念講演 全国の「うまいっ」食材に学ぶ元気な野菜産地づくり  
 NHKアナウンス室 武内陶子氏
  - 15:00～ 展示見学・休憩
  - 15:20～ 野菜生産販売の取組み事例  
 東京の野菜生産と経営事例  
 東京都足立区 牛込農園 牛込聖英氏  
 大消費地・東京における野菜生産・販売・商品開発の取り組み  
 東京野菜普及協会 堀将人氏
  - 16:10 大会決議・スローガン採択
  - 16:20 次回開催地紹介
  - 16:25 閉会
  - 17:00～18:50 交流懇親会 会場：大手町サンケイプラザ

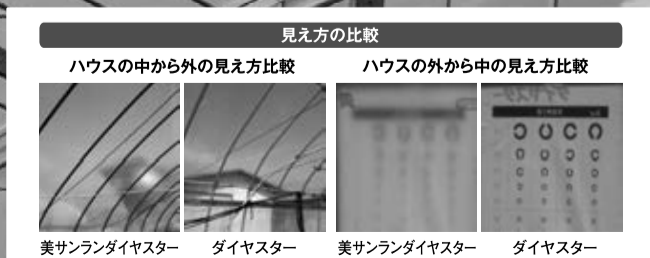
### 7月27日(水)

- 【新技術研修】  
 施設園芸・植物工場展GPEC2016  
 会場：東京ビッグサイト（開場10:00～閉場17:00）

耐久無滴散乱光農POフィルム

# 美サンラン®ダイヤスター®

「美サンラン」の新しい光が  
 ハウス全体にゆきわたります。



生分解性マルチフィルム

# カエル〜チ®

バイオポリマー技術と配合・加工技術の融合により  
 性能とコストバランスに優れた生分解マルチです。

土壌中で、水と  
 炭酸ガスに分解されます。



三菱樹脂 アグリドリーム

本社 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町1-2-2 三菱樹脂ビル  
 TEL.03-3279-3241 FAX.03-3279-6757

第6回

# トマト・キュウリ サミット 開催

## 1月、千葉県・柏市で、延べ530名が参加

### 環境制御技術温度管理による

### 収量・品質向上と省エネ技術 意見交換

### 植物工場千葉大学拠点の実証施設視察も

全国野菜園芸技術研究会をはじめ農業普及員・研究者ら約350名が参加した。サミット実行委員会(谷忠宏委員長)は、1月26・27日の両日、「第6回トマト・キュウリ サミット」を千葉県柏市の柏市民文化会館で開催した。サミットは、第一線で活躍している全国のトマト・キュウリの生産者・経営者が参加して生産・販売・経営の諸問題解決に参考となる新技術や事例等を紹介し、安定的なトマト・キュウリ経営の実現を図ることを目的とするもので、今年で6回目。北海道から九州まで生産者らが夢と希望を持って参加する。今年も「トマト・キュウリ経営の実現を図ることを目的とするもので、今年で6回目。北海道から九州まで生産者らが夢と希望を持って参加する。今年も「トマト・キュウリ経営の実現を図ることを目的とするもので、今年で6回目。北海道から九州まで生産者らが夢と希望を持って参加する。」と挨拶した。

今回のテーマは「次世代の増収増産・フーズ・トステップ」。これに沿って農林水産省生産局園芸作物課花き産産・施設園芸振興室の清水治弥課長補佐が「国の野菜園芸に関する施策について」と題して講演したほか、千葉大学大学院園芸学研究所の丸尾達教授が「新しい環境制御技術による増収増産へのステップアップ」と題して基調講演を行った。

丸尾氏は「日本農業の生産者が夢と希望を持って参加する。今年も「トマト・キュウリ経営の実現を図ることを目的とするもので、今年で6回目。北海道から九州まで生産者らが夢と希望を持って参加する。」と挨拶した。



「高齡化に至る急対応する必要がある。高い篤農家技術と植物工場技術でアジアをリードするためには環境に優しい栽培技術の確立と普及、種苗生産、環境制御、施設設計・開発等との連携・協調、農業教育・研修システムの整備が重要だ」と話した。また、「次世代型植物工場資材・種苗・機器を取り扱う企業・団体による展示会には、41社の企業・団体が参加し、新品種・防除資材、土づくり資材、栽培装置、被覆資材、環境制御機器を展示、参加者に紹介した。

展示企業・団体は以下の通り(順不同)。

日本曹達/みかど協和/みかど化工/サカタのタネ/デュボン/ネボン/ときわ研究場/日本ワイドクロス/埼玉農工機料販売/タキイ種苗/ベルクアース/TMR/三菱樹脂/アグリドリーム/加藤工業所肥料部/AGCグリーンテック/アグレコ/カネシヨウ/埼玉原種育成会/久留米原種育成会/村田農場/トマトパーク/アカデミー誠和/東都工業/丸善薬品産産/を視察・研修した。



**OS 交配**

ハウスでも、露地でも一年を通じさまざまな環境に対応

**選んで・作って・食べて ☆大満足☆**

キュウリ メロン カボチャ育種  
株式会社 **埼玉原種育成会**

〒346-0105 埼玉県久喜市葛蒲町新堀2616  
TEL0480-85-0854 FAX0480-85-0407

収量性・複合耐病性(褐斑・うどんこ・べと病)の高さ・高品質・食味・食感の良さで差がつく

2016 **GPEC**

に出展します。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

2016.7.27(水)▶7.29(金) 東京ビッグサイト 東6ホールX-32

http://www.toto-vp.com/

換気シリーズ

巻上げ換気

電動カンキット®

カンキット®

ニュータニカンキット®

天上換気

スカイベット®

トピテン®

妻面換気

ツマソー®III

ニューツマソー®

屋根換気

タンテンソー®

レンテンソー®

# 施設園芸・植物工場展GPEC 2016

## 7月27〜29日 東京ビッグサイトで

### 国際化稼げる農業へ 国内外の最新技術結集

日本施設園芸協会（篠原温会長）は、7月27〜29日、東京・有明の東京ビッグサイトで「施設園芸・植物工場展GPEC（ジーベック）2016」を開催する。

農水省、経産省、JA全中、JA全農、農林中央金庫、全国農業会議所、全国農業共済協会、日本政策金融公庫が後援。

GPECは、国内唯一の「施設園芸」と「植物工場」の専門展示会で、2年に1度開催している。4回目の今回は展示

スペースを2館に拡張、スベラスを2館に拡張、「共に考えよう！国際化の中で稼げる農業」ここに結集。日本の施設園芸・植物工場技術「をテーマに、国内外から200社を超す企業・大学・団体が出展する。全国野菜園芸技術研究会も協賛し、ブース出展する。主な展示内容として



「GPEC2014」会場

### 各種企画も充実、省力機器体験も

主催者セミナーでは、生産者の実践事例紹介や海外の業界動向に加え、病害虫防除やICT、省エネ等最新技術の講演が次のテーマで3日間に行われる。

〈特別講演〉人工光型植物工場／太陽光利用型植物工場／統合環境制御型植物工場／統合環境制御型ICT利用／ミニトマト・トマト／果菜類（イチゴ、パプリカ、キュウリ等）／ヒトポンプ、ソーラー、省エネ／葉菜類／病害虫防除対策／花き・果樹

6園芸振興シンポジウム「トップランナー農家から学ぶ高収益型施設園芸への歩み」

〈特別講演〉農商工連携通じた新たな生産・加工・流通システムの構築による地域企業等の輸出促進（経済産業省）／アメリカ及び世界の植物工場市場の最新動向（植物工

オンを設けるほか、アメリカ、シンガポール、スペイン、台湾からのPRコナーも。次世代施設園芸拠点パビリオンでは、農水省の「次世代施設園芸導入加速化支援事業」における実施拠点の事業内容や進捗状況等が報告される。

その他、〈省エネ・新エネ・再生エネ〉流通加工の特設ゾーン、〈ハリス・融資〉〈大学・研究機関〉とのコーナーも設けられる。

〈海外講演〉中国／オランダ／韓国／ベトナム主催者コナーでは、各界のエキスパートによる生産者相談コナーを開設するほか、雪害対策として各種補強対策を講じたパイプハウスを展示。パワーアシストスーツをはじめ各種省力化機器の体験コナーも用意されている。

主催者側では「今回GPECは、過去最大規模で展示内容も企画もさらに充実し、生産者にとって有益な情報の宝庫となっている。ここでヒントを得て収量増・品質向上・経営力アップにつなげていただきたい」と、来場を呼びかけている。



## 全野研協賛会が28年度現地研修会

「次世代施設園芸導入加速化支援事業富山県拠点」で

全国野菜園芸技術研究会を支援するメーカー各社で構成する「全野研協賛会」が、5月19・20日の両日「28年度現地研修会」を開催、協賛会各社や全野研役員らが参加した。今回は初日、石川県加賀市の「加賀フルーツランド」でイチゴ栽培施設などを視察。2日目は富山県砺波市の富山県農林水産総合センター園芸研究所でチューリップの育苗等を見学。日本曹達の高岡工場見学後、富山市の（株）富山環境整備で同社が取組主体となって展開する、次世代施設園芸導入加速化支援事業を研修し

た。『加賀フルーツランド』は、後継者不足での果樹園の荒廃を防ぐため、造園会社、行政、JAの3者で昭和52年に設立。50aのいちごハウスは「紅ほっぺ」が主体。ブルーベリー270本、りんごも「ふじ」をはじめ多品種が育成され、生産園、集出荷場のほか、もぎとり園や農村交流研修施設などを設置。果樹のオーナー制度もある。

『富山県農林水産総合技術センター園芸研究所』は、平成7年に設立され、現在はオランダに次ぐ2100品種の子種を栽培。昭和41年の「スーラ」をはじめこれまで33品種を育てる。代表的な品種は「黄小町」「白雪姫」「紫水晶」。

（株）富山環境整備は、産業廃棄物処理・リサイクルを事業とし、パレット生産のほか飲料水「天空の杜」を生産。同社が取組主体となる富山県平成26年度「次世代施設園芸導入加速化支援事業富山県拠点」（富山市）は、富山県と農林振興センター、富山市、JAあおば等とコンソーシアム「富山スマートアグリ次世代施設園芸拠点整備協議会」を構成し、廃棄物発電と廃熱の活用、米専作地帯における大規模施設園芸のモデル的導入に取り組んでいる。

温室・冷暖房設備28棟（4ha）、種苗供給施設2棟、出荷調整施設1棟、廃棄物由来の固形燃料を利活用した電熱供給システム等を整備し、ICT等を活用した高度環境制御システムの導入実証などに取り組んでいる。

フルツトマトは2・8haで17・67t/10a、トルコギキョウ等の花きは1・2haで143万本の収量をめざしている。

### 野菜の病害虫発生予報

農水省 6月21日付

農林水産省は6月21日付で、「28年度病害虫発生予報第3号」を発表した。このうち野菜における向こう1か月の主要な病害虫の発生動向としては、野菜のアブラムシ類、アザミウマ類の発生が多くなると予想されている。

（きゅうり）熊本

（きゅうり）うどんこ病」「やや多い」宮崎。べと病」「やや多い」神奈川県、京都、岡山、香川、愛媛、宮崎

アザミウマ類」「やや多い」東京、京都、香川、熊本

**有機質肥料・液肥・葉面散布剤**  
**葉先枯れ対策葉面散布剤！**  
**マッスルK 加量38%**  
**土がフカフカ！**  
**コージくん本生 酒粕入り**  
 埼玉県加須市戸室225  
 埼玉県農工機料販売株式会社 TEL0480(73)5718/FAX0480(73)0619

「攻撃」「防御」「包囲」の3つの軸で、総合的な防除を推進しています。

**トマト&ミニトマトのすすかび病・葉かび病防除に！**  
**きゅうりの灰色かび病・うどんこ病防除に！**

**殺菌剤** 農林水産省登録 第19884号

**ベルコートフロアブル**

**攻撃** 適用病害、使用時期が広い殺菌剤を選択  
 ベルコートフロアブルで 灰色かび病、うどんこ病、葉かび病、褐斑病、炭疽病、菌核病、黒星病、斑点病などに適用！  
※適用病害は作物により異なりますのでラベルをご確認ください。

**防御** 発病前～発病初期の予防散布！  
 ベルコートフロアブルで 初発時期を意識して 効率的な病害防除！

**包囲** ローテーション散布で総合防除！  
 ベルコートフロアブルで 多作用点を活用した 耐性菌対策！

**よく振って お使い下さい。**

**ベルコート 2,000倍 ~ 4,000倍**

発病前がベスト！ 無発病 発病初期 収穫

※本剤は予防効果主体の殺菌剤です。すすかび病は潜伏期間が2週間あり、発病前でも菌が感染している可能性があるため、散布のタイミングが重要です。

●使用前には、ラベルをよく読んでください。  
 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。  
 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

**日本曹達株式会社** 〒100-8165 東京都千代田区大町2丁目2番1号  
 ☎03-3245-6178 FAX03-3245-6084 http://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/



ここに結集

日本の施設園芸・植物工場技術

# 国際化の中で稼げる農業

## 共に考えよう!!



### 収量増加・品質向上につながる資材・機器が集結!

- ・国内外 **200社超** が出展! 展示規模は **過去最大**
- ・新機能 **製品特徴検索** で導入の **目的・効果** から出展者を検索!



### 経営力アップ、課題解決のヒントが豊富!

- ・有名施設園芸農家が参集、大規模経営の実態に触れる **相談コーナー**
- ・**アシストスーツ** 体験、**大雪対策** ハウスで、強い施設園芸を提案



### 最新動向・英知の結集! 主催者セミナーも充実

- ・**生産者・普及指導員** の実例、**省エネ・IPM** 等の最新情報を訴求
- ・定員を拡充、セミナー会場も増設!

# GPEC 施設園芸・植物工場展

## 2016.7.27 水 ▶ 29 金

### 東京ビッグサイト 東5・6ホール

主催：一般社団法人 日本施設園芸協会

後援：農林水産省、経済産業省、全国農業協同組合中央会(JA全中)、全国農業協同組合連合会(JA全農)、農林中央金庫、(一社)全国農業会議所、(公社)全国農業共済協会、(株)日本政策金融公庫 (順不同)

共催：アテックス(株)

入場料：1,000円(税込) ※来場登録制 ※Web事前登録者および招待券持参者は無料

事前来場登録  
出展者一覧・検索  
主催者コーナー、セミナー...

最新情報はこちらから

# www.gpec.jp